

さかき

No. 174

令和6年10月31日

議会だより

青い空にむかって
〈南条保育園 運動会〉



9月定例会

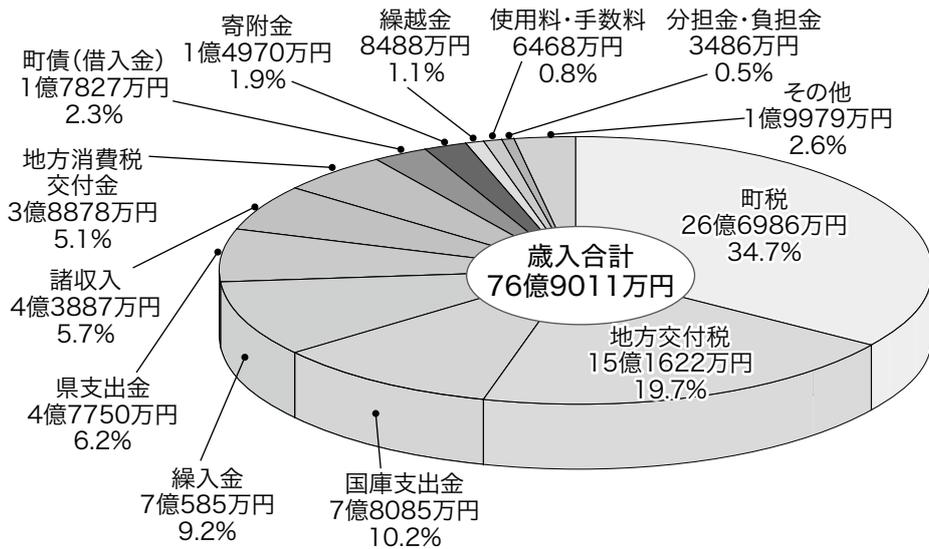
- 令和5年度決算を認定……………2ページ
- ここが聞きたい!一般質問10名 ……10ページ

万円を認定!

第3回定例会(9月) 決算議会

「基本構想・基本計画」の策定、学校給食費無償化を実施

歳入



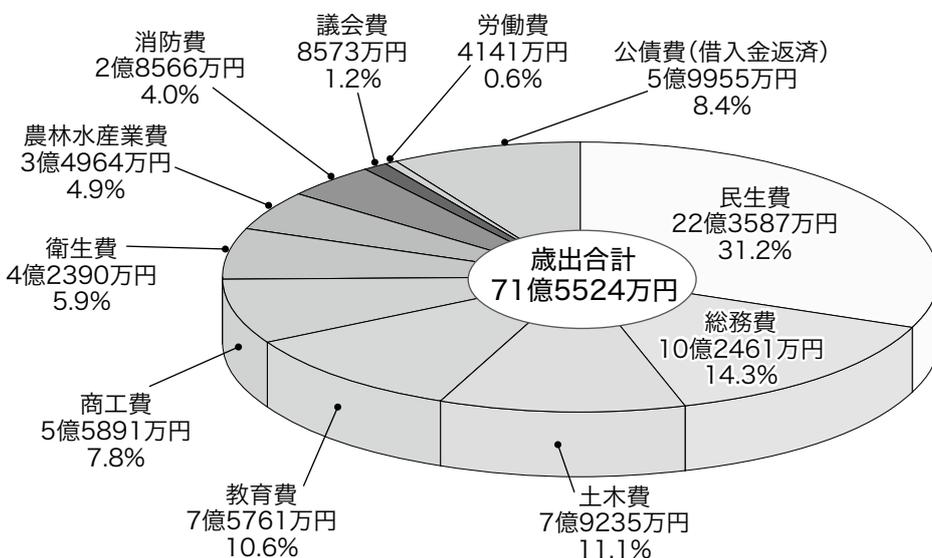
9月議会定例会は9月2日に開会され、5年度の一般会計及び各特別会計決算の認定、人権擁護委員、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会などの人事案件、条例案、令和6年度一般会計及び特別会計補正予算などを原案のとおり可決した。また、一般質問には10人が登壇し、20日に閉会した。

一般会計

歳入総額	76億9010万4628円
歳出総額	71億5523万8570円
差引額*	5億3486万6058円

歳入のうち、町税は法人町民税の減収等により、前年度と比較し、マイナス3・9%、約1億8000万円の減額となった。また、地方交付税は、普通交付税の算定の基礎となる基準財政収入額が前年度より大幅に増額算定となったことから、交付額は減額となり、マイナス11・0%、約1億8700万円の減額となった。国庫支出金は、地方創生推進交付金や、新型コロナウイルス感染症、物価高騰への対策費用として交付された地方創生臨時交付金の減額等により、約1億3800万円の減額となった。

歳出



歳出は、保健センターと老人福祉センターを複合化し、幅広い世代が集う健康・福祉・子育て等の新たな拠点となる複合施設建設事業において、「基本構想・基本計画」の策定、用地測量を実施した。また、産後ケア事業の拡充や、新生児の聴覚検査事業等、子育て支援の事業を実施した。

感染症が5類感染症に移行され、高校生タイ国研修事業の再開や、アメリカ合衆国への中学生海外派遣事業を初めて実施した。

歳出総額 71 億 5524

令和5年度一般会計決算 歳出前年度比12.5%減 複合施設の

会計名	歳入	対前年度増減率	歳出	対前年度増減率
国民健康保険	12億5848万円	△ 7.9%	12億5747万円	△ 7.9%
下水道	7億6056万円	△ 7.6%	7億4090万円	△ 7.9%
介護保険	13億6525万円	△ 1.4%	13億6148万円	0.0%
後期高齢者医療	2億5041万円	1.3%	2億5040万円	1.3%
合計	36億3470万円	△ 15.6%	36億1025万円	△ 14.5%

特別会計

歳入総額	36億3470万4192円
歳出総額	36億1025万4108円
差引額*	2445万 84円

下水道事業特別会計

主に、中之条、上平地区の整備を進め、令和5年度末現在で、町内の供用面積は573ha、普及率は97%となった。なお、6年度からは、地方公営企業法を適用した公営企業会計へ移行した。

※差引額

各会計の差引額は、決算剰余金として翌年度へ繰り越すほか、一部基金に積み立てる。

決算審査報告

監査委員

春日英次
大森茂彦

5年度一般会計、特別会計及び財政援助団体(社会福祉法人坂城町社会福祉協議会)の決算審査を、7月19日から7月31日まで実施した。財政健全化判断比率の審査を8月19日に行った。

審査結果

審査に付された各会計歳入歳出決算及び附属書類は、いずれも関

係法令の定める様式に従って作成されており、決算の計数は諸帳簿と符合して正確であることを認めた。
また、財政健全化判断比率及び算定書類は、いずれも関係法令の定める様式に従って作成されており、比率の計数は算定書類と符合して正確であることを認めた。



新複合施設建設予定地(斜線部: 駐車場含む)

委員会審査

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、5年度一般会計決算の各項目について、9月12日、13日の2日間で、所管による関係資料をもとに慎重かつ詳細に審査を実施した。

その内容について、両委員長から審査報告があり、主な内容は以下のとおりである。

総務産業常任委員会

ふるさと寄附金

実質収入額約4813万円

委員長 大日向進也

歳入

問 長野県地方税滞納整理機構への滞納整理移管者の選定方法は。

答 滞納整理機構には、滞納繰越分の住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税が移管でき、滞納額・徴収の困難度・納税者の納税意欲等を勘案し移管とする者を選定している。令和5年度は、680万4490円を移管し、446万7150円を徴収した。

歳出

総務課

問 接遇研修の実施状況は。

答 窓口対応など接遇に係る事項について実施したほか、新入職員研修のカリキュラムの中で、接遇研修を実施している。

企画政策課

問 温泉施設備品の内容は。

答 源泉のお湯をくみ上げる水中ポンプ1基の購入費で、災害や故障などの不測の事態の際に対応するため調達したものである。



商工農林課

問 ふるさと納税事業の寄附金総額から諸経費等を差し引いた収入額はいくらか。

答 寄附収入額から諸経費と他自治体への寄附に伴う町税控除額を差し引いた収入額は、4813万454円である。

問 ふるさと納税の返礼品は、何品目を取り扱い、需要が多いものは何か。

答 5年度末現在で掲載のあった品目は154品目で、需要は、果実類が多く、シャインマスカット、ナガノパープル、巨峰で8割以上を占めている。

問 複合施設の用地測量の内容は。

答 建設予定地は、国土調査完了から年数が経ていることから、杭の位置確認や境界杭が無くなっている箇所への復元のほか、ドローンによる精密測量を含めて実施した。

県内プロスポーツ

問 チームのホームゲームの際に、町の観光PRをおこなってはどうか。

答 坂城町に足を運びやすい近隣市町村在住の観客が多数訪れ、高いPR効果が見込まれることから、積極的に参加していきたい。

建設課

問 果樹共済掛金補助金について、4年度決算額よりも大幅に増えているが、その理由は。

答 以前から補助を行っていた「果樹共済」に加え、5年度より「収入保険」の保険料の一部補助を開始したことから補助額が増額となった。

問 町単補助事業を数年継続している箇所の理由は。

答 施工延長が長かったり、多額の工事費が必要となる箇所となっており、区長と相談し、確認しながら施工している。



ふるさと納税返礼品で大人気のシャインマスカット

問 除雪作業の内容と実績は。

答 融雪剤散布は道路凍結の恐れがある時、除雪は10センチ以上降り積もる状態の時に作業路線を決め実施しており、令和5年度は、融雪剤散布17日で46時間、除雪は11日で90時間の作業を実施した。

問 国道18号と役場間に架橋されている64号橋と昭和橋の工事予定は。

答 64号橋の今年度工事は発注済みであり、役場前庭の歩道整備や旧橋の撤去を施工予定である。

昭和橋は平成26年度から工事着手しており、今年度も継続して修繕工事を行う予定である。

社会文教常任委員会

中学生海外派遣

委員長 玉川清史

住民環境課

問 コンビニ交付の実績及び窓口交付分を含めた全体に占めるコンビニ交付件数の割合は。

答 戸籍証明が335件、住民票が966件、印鑑証明が579件で、割合は約13%である。

問 マイナンバーカードについて、再発行の件数と再発行理由は。

答 再発行件数は、75件である。理由は、紛失等によるもの及び外国籍住民の在留期限が切れた際に行うものである。

福祉健康課

問 町ポンプ操法大会の在り方が変わったなかで、各分団はどのような訓練を実施しているか。

答 有事の際には消火作業等が実施できるよう、消防署の協力を得ながら、基本的な機械操作を中心に、安全かつ確実な機械操作技術の習得に向けた訓練を実施している。

問 結婚新生活支援補助金の内容及び補助件数と補助金額は。

答 町内に居住し婚姻届提出時点で夫婦ともに39歳以下で、世帯の合計所得が500万円未満である世帯に家賃や引越費用などの経費を補助している。

補助上限額は30万円
で、夫婦ともに29歳以下
の場合は上限額が60万円

である。
5年度の補助件数は3
件、補助金額は合計91万
7000円である。

問 あんしん電話利用者数と待機者はいるのか。

答 5年度末の利用者は122名であり、待機者はいない。申し込みから設置まで2週間程度かかるが、希望者全員に設置している。

問 信州上田医療センター医師確保事業の内容と状況は。

答 上田市、東御市、青木村、長和町、当町の上田広域5市町村で、均等割10%と人口割90%の算出により補助し、医療従事者確保を目的としている事業である。

令和6年4月時点で、
医師93人を確保している。

問 新型コロナウイルス予防接種事業で、令和5年度の接種率は。

答 春接種では町民全体の接種率は27.7%、

教育文化課

65歳以上の接種率が64.3%であり、また、秋接種では町民全体の接種率は27.4%、65歳以上の接種率が63.5%であった。

問 出産・子育て応援交付金事業についての実績は。

答 経済的支援として妊娠届出時に「出産応援給付金」として、72人に一人あたり5万円を、出産後の新生児訪問後に「子育て応援給付金」として、65人に一人あたり5万円を支給した。

問 学校給食費等補助金の内容は。

答 学校給食費等補助金は、5年度に導入した学校給食費無償化に伴い、アレルギー等の理由により、学校給食を食べることができない児童生徒に対し、学校給食費相当額について補助を行った。

問 中学生海外派遣事業について、参加生徒とそ

れ以外の生徒で体験格差をどう考えているのか。

答 中学生海外派遣事業に参加した中学生8名には、帰国後、報告書を作成するほか、今年度の文化祭において報告発表を予定するなど、自らの体験を中学校全体にフィードバックする機会を設けている。

問 令和4年8月からスタートしたデジタル図書信州で利用できる電子図書数は。

答 約2万4000冊である。



中学生海外派遣事業に参加した生徒8名

委員会審査

付託された5年度4特別会計について、慎重かつ詳細に審査を実施した。

その内容について、両委員長から審査報告があり、主な内容は以下のとおりである。

特別会計

国民健康保険

社会文教常任委員長 玉川清史

特定健診受診率 59・9%

問 一般被保険者療養給付費について、一人あたりの医療費の金額と県内順位は。

答 令和6年4月末の速報値で、一人あたりの医療費は39万1610円、順位は高い方から47番目である。

問 一般被保険者高額療養費の件数は。

答 高額療養費は、医療費の自己負担が限度額を超えた場合に支給されるもので、件数は2083件である。

問 出産育児一時金の対象者数は。

答 少子化対策として出生時に支給されるもので、対象者は6名である。

問 特定健診の受診率と県内順位は。また、特定保健指導の

実施率は。

答 いずれも速報値で8月末時点、特定健診の受診率は59・9%、順位は17位。

特定保健指導終了率は52・7%、順位は26位である。

実施率は。

答 いずれも速報値で8月末時点、特定健診の受診率は59・9%、順位は17位。

特定保健指導終了率は52・7%、順位は26位である。



楽しみながら健康づくり（秋のスポーツ大会）

介護保険

社会文教常任委員長 玉川清史

高額医療合算介護サービス費支給 125件

問 特別徴収と普通徴収の人数は。

答 5年度末の特別徴収は4912人、普通徴収は534人である。

問 高額医療合算介護サービス費について、対象者の人数と最高額は。

答 高額医療合算介護サービス費は、医療費と介護費の両方が高額となった世帯に、自己負担限度額を超えた分を支給し負担を軽減する制度で、件数は125件、最高額は16万5526円である。

問 地域住民グループ支援事業の内容と件数は。

答 高齢者が、地域やグループ単位で継続して介護予防等に取組む活動を、支援するもので、運動指導員や歯科衛生士を

派遣し、運動機能の向上や口腔ケアに関する啓発を行っている。地域住民グループは14である。

問 地域包括支援センターの職員体制は。

答 ケアマネジャーの有資格者は2名のほか、保健師、社会福祉士の計4名の専門職で総合的相談に応じる体制を整えている。



「高齢者福祉・介護保険サービスガイド」QRコードからご覧になれます。

下水道事業

総務産業常任委員長 大日向進也

下水道整備率 97%

問 受益者負担金、下水道使用料の滞納繰越分の件数、滞納最高額及び最も古いものは何年度からになるか。

答 受益者負担金は50件、最高額は129万3000円、最も古いものは平成13年からのものである。

使用料は105件、最高額は67万1000円、最も古いものは平成20年からのものである。

問 下水道整備率と水洗化率は。

答 下水道整備率は97%、水洗化率は69%である。

問 受益者負担金前納報奨金の内容、5年度の対象件数及び制度の周知方

法は。

答 受益者負担金は、通常5年間で20回の支払いとなるが、一括払いや前倒しでの分割払いがあった場合に、最大で11%の報奨金が交付される。対象件数は、一括払いが31件、前倒し分割払いが27件となっており、周知方法としては、下水道管路工事着工前や受益者負担金の申告の際に、制度説明を行っている。

問 ※起債残高と元利償還金のピークはいつか。

答 起債残高については令和2年度の55億7200万円、元利償還金については、令和6年度で3億9700万円を予定している。

後期高齢者医療

社会文教常任委員長 玉川清史

1人あたりの医療費 約93万円

問 後期高齢者医療保険料について、収入未済額と還付未済額それぞれの件数と金額は。

答 収入未済額は、1件で7万4000円。還付未済額は、10件で24万2000円である。

問 保険料の特別徴収と普通徴収の割合は。

答 特別徴収が77.9%、普通徴収が22.1%である。

問 保険料軽減の件数は。

答 7割軽減1151名、5割軽減591名、被扶

養者軽減による5割軽減は22名、2割軽減421名である。

問 1人あたりの医療費の金額と、県内順位は。

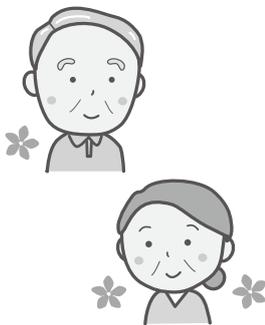
答 令和6年6月末の速報値で、1人あたりの医療費は93万6884円、順位は高い方から13番目である。

問 特定疾病療養受療証の発行数と疾病の内容は。

答 発行件数は40件で、その全てが人工透析を伴う慢性腎不全によるものである。

※起債とは

市町村が国や銀行などから借入れる長期の借入金をいい、長期間利用する道路、施設などの建設費に充てること。



～議会を傍聴してみませんか～

次の定例会は12月初旬
開会の予定です。

事前の申し込みは不要です。
当日議場(役場4階)へお越しください。

会議録は町のホームページまたは
右のQRコードからご覧になれます。

坂城町議会

検索



一般会計と特別会計の違いは？

一般会計とは、地方公共団体において町民のサービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費(福祉・教育・土木など)を計上している会計。

一方で**特別会計**は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計。

当町では、令和5年度は、国民健康保険、介護保険、下水道事業、後期高齢者医療の4会計があった。

第3回定例会 議案審議

規約の変更

◆長野県後期高齢者医療
広域連合規約の変更

国の制度改正に伴い、長野県後期高齢者医療広域連合が処理する事務を規定した規約の一部を変更するもの。

条例改正

◆坂城町告示式条例の一部を改正する条例

条例や規則など、公布や告示等を行う南条掲示場の移転にあたり、位置を改正する。



◆坂城町福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例

医療保険各法等の改正により、本年12月2日から医療保険の被保険者証が廃止されることに伴い、医療機関における「被保険者証」の提示を「電子資格確認等」に改める。

◆坂城町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法の改正により、本年12月2日から国民健康保険の被保険者証が廃止されることに伴い、被保険者証の返還を求める規定について削除するもの。



児童手当が高校生年代まで拡充
(村上小学校 150周年感謝の会サイエンスショー)



移転した南条掲示場

令和6年度 一般会計補正予算(主なもの)

◆第2号補正額(専決)	1,260万円
歳出	
○法人町民税の税償還金・還付加算金	1,260万円
◆第3号補正額	1億6,661万円
歳入	
○地方交付税	2億1,289万円
○国庫支出金	9,872万円
○前年度繰越金	646万円
○諸収入	3,556万円
(新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金など)	
○基金繰入金	▲1億9,399万円
○町債(臨時財政対策債)	▲130万円
歳出	
○温泉施設持続化負担金	1,000万円
○児童手当	7,065万円
(高校生年代までの支給期間の延長に伴うもの)	
○新型コロナウイルス予防接種に係る経費	4,335万円
○インター先線延伸に伴う南田橋交差点改良工事	280万円
○町道及び林道の除雪に係る費用	1,300万円
○バラ公園施設整備工事費	418万円

人事(敬称略)

■人権擁護委員(任期3年)

中島三枝子(中之条) 新任 ・ 朝倉美代子(月見) 新任

島田 秀一(中之条) 再任 ・ 小宮山広幸(大宮) 新任

■教育委員会委員(任期4年)

宮下 昭夫(金井) 新任 ・ 高松 陽子(月見) 再任

■固定資産評価審査委員会委員(任期3年)

高橋 一(泉) 再任

第3回定例会(9月)の審議結果

1 全会一致で可決された議案

(1) 専決処分

- ① 令和6年度一般会計補正予算(第2号)
- ② 和解及び損害賠償額の決定(2件)

(2) 人事

- ① 人権擁護委員の推薦(4件)
- ② 坂城町教育委員会委員の任命(2件)
- ③ 坂城町固定資産評価審査委員会委員の選任

(3) 条例

- ① 坂城町公告式条例の一部改正

(4) 令和5年度歳入歳出決算の認定

- ① 一般会計
- ② 下水道事業特別会計
- ③ 介護保険特別会計
- ④ 後期高齢者医療特別会計

(5) 令和6年度予算

- ① 一般会計補正予算(第3号)
- ② 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ③ 介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ④ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(6) 意見書

- ① 女性差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた速やかな検討を求める意見書
- ② 医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書
- ③ 訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書
- ④ 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書
- ⑤ 刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書
- ⑥ 地方財政の充実・強化に対する意見書

2 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		結果	(議員氏名)													
			中嶋登	塚田舞	水出康成	宮入健誠	中村忠靖	星哲夫	玉川清史	山城峻一	祢津明子	大日向進也	朝倉国勝	大森茂彦	滝沢幸映	
議案等	令和5年度歳入歳出決算の認定	国民健康保険特別会計	可決	○	○	○ 賛成討論	○	○	○	×	○	○	○	○	×	反対討論
	条例等	坂城町福祉医療費給付金条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
		坂城町国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
請願	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更	国に対し適格請求書等保存方式(インボイス制度)について直ちに直直しを検討することを求める請願書	不採択	○	×	×	×	×	×	○ 賛成討論	○	×	×	×	○	
		健康保険証の存続を求める意見書	可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○		

議長職

3 全会一致で否決された議案……なし

4 請願・陳情審査結果

	件名	提出者	付託常任委員会及び委員会審査結果	本会議における議決結果
請願	国に対し適格請求書等保存方式(インボイス制度)について直ちに直直しを検討することを求める請願書	品川フリーランスの会 坂城町会員 赤池 志麻 紹介議員 玉川 清史	総務産業 不採択	不採択
	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての請願	新日本婦人の会 坂城支部長 栗林 菊代 紹介議員 星 哲夫 玉川 清史	総務産業 採択	採択
陳情	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	社会文教 採択	採択
	訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情	長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢 裕夫 佐野 達夫 細尾 俊彦 小林 吟子 松丸 道男 北沢 忠	社会文教 採択	採択
	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情	長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢 裕夫 佐野 達夫 細尾 俊彦 小林 吟子 松丸 道男 北沢 忠	社会文教 採択	採択
	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	非核・平和・憲法を守る上小の会 会長 林 博信 長野県憲法擁護連合 代表委員 松澤 佳子	総務産業 採択	採択

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

学校プール

プール授業の方向性は

授業の実施方法も含め検討



柵津 明子 議員

問 学習指導要領における水泳授業の位置づけは、**教育長** 小学校低学年では「水遊び」として水に親しむことからスタートしている。中学年以降は、水泳運動として泳法の習得を通じ、体力を養うとともに、水泳の心得を学び、健康・安全に配慮するよう指導することが定められている。

問 現在の検討課題は。**教育長** プール施設の老朽化等により、今後、施設維持に多大なコストがかかるが見込まれる。**問** 民間委託や他自治体との連携も含め協議を始めるべきでは。**教育長** 当町の場合、学校プール以外に授業を行う施設がないため、選択肢としては、町内の他校のプールを共同で利用するか、隣接自治体の民間・公営プールを利用することが考えられる。プール授業は自らの命を守るという目的もあるので、関係者の意見を踏まえ慎重



村上小学校プール

問 に判断する必要がある。**問** 今後のプール授業の方向性は。**教育長** 現在のプールが使用できるうちに、方針

を定めていく。施設の長寿命化と並行して、先行事例を参考に、授業の実施方法なども含めて検討していく。

質問項目

柵津 明子 議員 10ページ

- ① 学校プールについて
- ② 女性を守るために

中村 忠靖 議員 11ページ

- ① 防災対応について
- ② 空き家対策について

朝倉 国勝 議員 11ページ

- ① 有害鳥獣対策について
- ② 帯状疱疹対策について

大日向 進也 議員 12ページ

- ① ごみの減量化に向けて
- ② 公共施設管理予約について

塚田 舞 議員 12ページ

- ① 認知症の早期発見と包括的支援について
- ② 子ども・子育て支援について

宮入 健誠 議員 13ページ

- ① 新複合施設について
- ② ごみの資源化について

大森 茂彦 議員 13ページ

- ① 公益通報者保護の取り組みは
- ② 今こそ平和への取り組みを
- ③ 子育て支援
- ④ 高齢者の補聴器購入助成を

玉川 清史 議員 14ページ

- ① 町道整備について
- ② 国土調査について
- ③ 町有地の貸出しについて
- ④ マイナンバーカードについて

星 哲夫 議員 14ページ

- ① 児童数減少と教員の働き方改革について
- ② 自治区の防災対策について

水出 康成 議員 15ページ

- ① 移住定住施策について
- ② 警戒情報について

防災訓練

新たな課題は

検証を現在すすめている



中村 忠靖 議員

問 今回実施の防災訓練で、新たな課題は。

町長 今年度実施した防災訓練では、これまで台風による大雨・浸水災害を想定した総合防災訓練が町内全域で実施されたことから、新たに地震災害を想定した防災訓練とし、8月25日に実施した。課題などの検証は、現在すすめている。

今回初めて実施した「ペット同行避難」では、長野県動物愛護会の皆様に協力をいただき「飼い主として準備すること」や「被災した時の過ごし



空き家対策について

問 今後、どのような取り組みを行っていくのか。

住民環境課長 今後の空き家対策の取り組みは、引き続き「長野県空き家対策支援専門家派遣事業」を活用し、「空き家対策住民啓発講座・相談会」を開催する。

方・注意点」など、役立つ情報を伝えてもらった。愛護会の皆様も初めての参加のため、課題がなかったか整理し、今後の訓練内容について助言してもらおう。

空き家の利活用の促進として、固定資産税納税通知書にチラシを同封し、「空き家等の適切な管理」と「空き家バンク制度」の周知・利活用促進を図っていく。



朝倉 国勝 議員

ワクチン助成の実現を

早期に実現していきたい

带状疱疹

問 町内でも50才以降の人に带状疱疹の発症が多くみられ、神経痛のような痛み、しびれ、かゆみ等の症状があり、長期にわたる治療が必要で、場合によっては重症化する。発症を予防するため、ワクチン接種が推奨されている。他の市町村

でも助成制度を実施しているところが増加しており、当町においても助成制度の実現を要望したいが町の考えは。

町長 50才以降に多く発症し、80才までに3人に1人がかかるといわれ、治療が遅れると重症化し、治療後も長期間痛みが残り、带状疱疹後神経痛になる場合もある。町としても発症リスクの低減、重症化の予防をはかるために、助成制度をできるだけ早期に実現できるように進めたい。

有害鳥獣対策について

問 最近、有害鳥獣による被害が拡大しているが、個体の大幅削減に向けた今後の考えは。

商工農林課長 有害鳥獣への対応は、捕獲対策・防除対策・環境整備を組み合わせた総合的な対策を実施してきたが、有害鳥獣の大幅削減には至っていない。現状の状況を分析し、新しい視点で個体の大幅削減対策を計画展開したい。

たいじょうほうしん

带状疱疹

子どものみずぼうそう（水痘）の予防に効果がある水痘ワクチンは、50歳以上の方の带状疱疹予防にも使用されています。

带状疱疹はワクチンで予防できる感染症です。

? 带状疱疹 (たいじょうほうしん)

带状疱疹は、「みずぼうそう(水痘)」にかかったことのある人がなる病気で、水ぶくれと痛みを伴う赤い発疹が身体に帯状に出て、高齢者の日常生活に支障をきたします。

<症状>

- ・チクチク、ピリピリ、ズキズキとした強い痛み
- ・発疹が治った後、長い間(3~6か月以上)痛みが続く

ワクチン接種で発症予防

ごみ減量化

町の総排出量は

県内77市町村中54番目



大日向 進也 議員

問 令和4年6月にちくま環境エネルギーセンターへ可燃物処理の移行が行われてから、町の可

燃ごみの総排出量は、住民環境課長 家庭系、事業系合わせて令和4年度は施設移行後の6月より2697t、5年度は3107t、6年度7月までで1033tである。

町長 令和4年度の実績によると、県内77市町村中54番目である。このような現状を踏まえ、リデュース、リユース、リサイクルの推進を引き続き図るとともに、可燃ごみの中で占める割合が多い生ごみについては、家庭でたい肥化を行うため、各地区と連携をし、関係団体と協力を図りながら減量化に努めていく。

問 令和4年4月に「プラスチックリサイクル法」が改正となった。町における収集方法に変化はあるか。

町長 今後「葛尾組合リサイクルセンター」の建設を予定しており、そのタイミングに合わせて現在の可燃物と同様の専用の収集袋の導入を検討している。



生ごみを資源に
(ダンボールコンポスト作り講座)

子育て支援

幼・保・小の連携は

切れ目のない支援を目指す

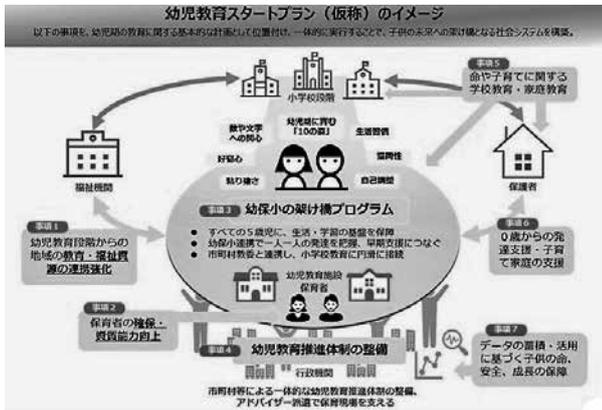


塚田 舞 議員

問 幼・保・小の連携の働きかけの現状は。子ども支援室長 「坂城の子は坂城で育てる」をスローガンに、子どもの成長に合わせた切れ目のない一貫した子育て支援を進めている。特に、幼稚園や保育園から小学校へのスムーズな移行は

特に重要な節目と捉え、年中児対象の発達相談事業や、年長児対象の発達フォロー事業を実施し、子どもたちの個性や特徴に合わせて支援している。また、就学支援委員会では、必要に応じて学校見学を行い、関係者と連携しながら小学校への就学に向け、より丁寧な支援を行っている。さらに、円滑な就学に向け、各園への訪問指導や循環訪問を実施している。

問 子育て中の保護者に対しての支援の状況は。子ども支援室長 家庭の多様化が進むなか、子育ての不安や悩みを解消し、社会的孤立を防ぐことが求められている。町では、妊娠・周産期から青少年期までの切れ目のない支援を提供するため、保健、福祉、教育、医療などの関係機関が連携して、包括的な相談支援を行っている。また、不妊・不育症治療費の助成や、保育料、副食費、学校給食費の無償化など、経済的負担の軽減にも努めている。



幼児教育スタートプラン (仮称) イメージ

新複合施設

今年度の事業計画は

基本設計を取りまとめる



宮入 健誠 議員

問 新複合施設建設に向けた建設委員会や住民ワークショップの開催計画の考えは。

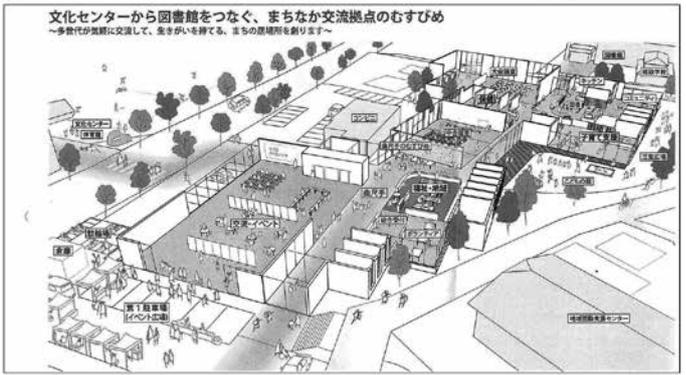
町長 今年度、基本設計を進めていくうえで、「基本構想・基本計画」をより具現化するため、建設委員会をはじめ、施設利用者など多くの町民

の皆様と施設イメージを視覚的に共有する中で、ワークショップの開催などを通じて、意見の集約を図っていききたい。

また、基本設計案については、来年1月から2月にかけて、再度ワークショップを開催し、町民の皆様と施設イメージを再確認する中で案を完成形に近づけ、来年3月に予定する建設委員会において、基本設計の最終案を取りまとめていききたい。

なお、基本設計の業務完了後には、町民の理解を得るために、説明会を予定している。

【抜粋】最優秀提案者 プロポーザル資料
【※注意】この掲載内容はあくまで最優秀提案者となった設計業者の提案資料であり、今後の建設委員会での協議やワーキンググループでの検討結果によって、変更になる可能性がありますので、ご了承ください。



新複合施設 イメージ案

非核平和の町宣言 昭和60年9月27日議決宣言

野に 花が咲き
山に 鳥が鳴き
まちには 緑がいっぱい
ここには 私たちの幸せがある
いま地球をおおう核兵器は
愛するすべてのものを滅亡させてしまう
ヒロシマ ナガサキを
くり返してはならない
いまこそ 私たちは
核兵器の根絶を願ひ
私たちの町にいかなる核兵器の
配備も 飛来も 通過も 許さない
緑豊かなスポーツと福祉の
美しい 田園工業都市
平和で幸せなまちを実現するため
ここに坂城町を非核地域とし
非核 平和の町を宣言する



大森 茂彦 議員

問 この8月、町内の平和団体が図書館の協力を得て「小さな原爆写真展」を開催した。毎年7月に行われる「原水爆禁止国民平和大行進」の参加者に対し、町長は町の平和宣言を毎回紹介している。この素晴らしい

宣言文を役場に訪れた方にも読んでいただけるようなパネルにして庁舎内に掲示できないか。来年は被爆80年になる。年間を通して「平和を考える」年度にするため、戦争体験者の聞き取りや講演会、広島市の平和

非核平和宣言

宣言文を。パネルに
来庁者に見えるよう準備

祈念式典に子どもたちを派遣すること、原爆写真展や被爆者の描いた絵画の展示などを、町施設で展示計画できないか。
総務課長 宣言文の掲示は大きさや方法、場所等を検討していく。
教育長 来年度は終戦80年の節目であり、平和学習の実施や戦争体験者の聞き取り、平和学習施設への研修、写真展示等を来年度の事業計画の中で検討する。

高齢者の補聴器助成を

問 町は、補聴器購入助成制度を定める署名851筆にどう応えるか。

町長 これから策定作業に着手し、来年度以降の早期導入に向けた準備を整えていく。

紙の保険証

本年12月2日以降は

資格確認書が届く



星川 清史 議員

度は76・87%である。

問 国保加入者のマイナ保険証紐付け率及び利用率は。

答 福祉健康課長 6年6月末時点の紐付け率は57・96%で、医療機関等窓口での利用率は11・45%である。

問 マイナ保険証がない人に届く資格確認書の説明を。

福祉健康課長 マイナナンバーカードがない、またはカードへの保険証の利用登録をしていない方には、被保険者資格情報を掲載した資格確認書を申請不要で交付する。

資格確認書の有効期限が切れることがないよう、現行の保険証と同様に加入者へ送付し、この資格確認書を医療機関等の窓口で提示することで、これまでと同じ窓口負担で医療を受けることができる。

問 EV充電設備設置について

答 充電目的でない車両が駐車して、充電用の空きがない場合の対応は。企画政策課長 電気自動車優先という表示を考えているが、EV駐車場に空きがなく、他に駐車スペースがある場合には、施設管理者が車両の移動を促すなどの対応をする。



文化センターの充電器

児童数減少

小学校統合の可能性は

現在の3小学校を維持



星 哲夫 議員

問 小学校児童数の過去5年間の推移は。

答 町長 3校全体で令和元年度が701人、2年度が662人、3年度が628人、4年度が621人、5年度が599人、6年度は566人で、5年前と比較すると児童数は2割減少している。昭和54年度1775人をピークに児童数は減少に転じ、現在はピーク時の3分の1になっている。

問 児童数の減少が続くなかで、将来3小学校の統合に対する町の見解は。

町長 一人ひとりの児童の個性や能力に合わせ、きめ細かな指導が可能になる少人数ならではのメリットを活かした教育を推進し、現在の3小学校を維持していきたい。

問 教員の働き方改革を進めるため、業務負担軽減などの取組みは。

町長 クラス数の減少は学校全体の教員数の減少につながり、行事の準備や引率等、児童数と関係なく必要となる学校業務についての教員1人にかかる負担は、相対的に増えている。

町では、負担軽減への取組として、各学校に継続して支援員を配置し、多様な児童生徒への支援を行っている。また、教育のICT化への対応と、業務効率化のため、外部委託や各学校にICT支援員を派遣している。



関係人口

増加への考えは

さらにPRし創出を目指す

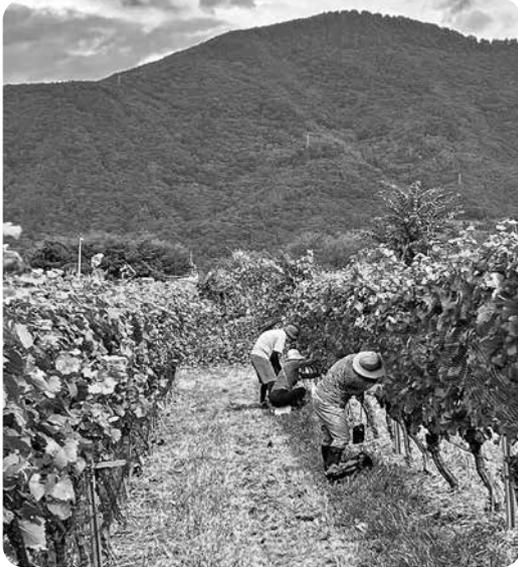


水出 康成 議員

問 関係人口に関する取り組みの状況と増加への考えは。

企画政策課長 関係人口に関する事業として、ふるさと納税が上げられる。そのほか、新たな人口流入増加につながるため、ばら祭りや葡萄酒祭り、169系電車関連イベントなど、町に関心を持ってもらう事業を行っている。

今後、第2期坂城町まち・しごと・創生総合戦略を踏まえ、各種事業を展開するとともに、人のつながりや思いを大切に



荒廃地転用したブドウ栽培と
ワイン愛好家の摘果ボランティア作業

にしながら、様々な媒体を通じて町外に向けた地域の魅力を発信・PRし、関係人口のさらなる創出を年頭に、地域の活性や持続可能な社会の構築を目指していく。

熱中症警戒アラート

問 高温環境が増加している。小中学校体育館に冷房設備の早期設置への考えは。

教育文化課長 当面、授業時間のやりくりなどで対応する。設置に関しては、国の支援策の活用を研究していく。

議 会 日 誌 (主なもの)

- 7月**
- 3・9・16日 議会報編集委員会
 - 10～11日 上田地域広域連合議会行政視察
 - 12日 町村議会議員研修会
 - 16日 県道上室賀坂城停車場線改良促進期成同盟会総会
 - 18日 長野広域連合議会視察
 - 19・23・24・25・30・31日 決算審査
 - 22日 議会全員協議会/社会文教常任委員会
 - 25日 町例月現金出納検査/国道18号坂城更埴バイパス現地事業説明会/上田地域広域連合管内施設視察
 - 26日 総務産業常任委員会
 - 30日 社会文教常任委員会閉会中の調査

- 8月**
- 1日 国道バイパス・県道整備促進期成同盟会総会
 - 5日 総務産業常任委員会閉会中の調査
 - 6日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会総会
 - 7日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会要望活動
 - 19日 新日本婦人の会請願/長野県医療労働組合連合会、長野県社会保障推進協議会陳情

- 8月**
- 20日 議会全員協議会/坂城駅周辺活性化特別委員会/六ヶ郷用水組合議会臨時会
 - 21日 非核・平和・憲法を守る上小の会、長野県憲法擁護連合陳情/千曲坂城消防組合議会臨時会
 - 26日 議会運営委員会
 - 27日 町例月現金出納検査/葛尾組合議会臨時会
 - 29日 決算審査監査報告受領

- 9月**
- 2日～20日 9月議会定例会
 - 4日 総務産業常任委員会
 - 10日 議会運営委員会
 - 18・26日 議会報編集委員会
 - 20日 議会運営委員会/議会全員協議会
 - 25日 全国町村議会広報研修会
 - 26日 町例月現金出納検査
 - 27日 上田地域広域連合議会代表者会
 - 30日 長和町議会視察

表紙



当初より1日遅れて、9月23日(月)に南条保育園の運動会が開催されました。気持ちの良い天気の中、子ども達は楽しく一生懸命に走ったり、踊ったりしていたこと。園長先生からは『青い空の下、運動会が開催されました。今年は「輝け！パワフルなかよし運動会！！」をテーマに掲げ、各年齢とも趣向を凝らした発表ができました。たくさんの観客の応援の中、パワフルで笑顔いっぱいの楽しい運動会となりました。』というコメントを頂きました。(写真：中嶋 登、文：山城 峻一)

「持続可能なものづくりのまち」を目指して

総務産業常任委員会



エアリークビューアーでガス漏れなどを発見できる。
（長野県工業技術総合センターにて）

総務産業常任委員会は8月5日（月）にさかきテクノセンター及び松本市にある長野県工業技術総合センターを視察した。さかきテクノセンターは開館から30周年を迎え、2050ゼロカーボンや持続可能な社会を達成させるために、ZEB化事業を行っていく。

（25%以下まで削減）に取り組む方向で準備を進めている。今後、さらに脱炭素への取組が加速していくのは必須で、それをチャンスと捉え、「持続可能なものづくりのまち」の実現に向け、歩みを進めるとの話があった。

長野県工業技術総合センターの環境情報技術部門は、A I I O T活用や脱炭素化の促進、また人の動作計測・デザイン支援などを行っている部署であり、県の研究機関として県内企業の課題解決力や競争力の強化を図っている。

今回視察をしたそれぞれの施設は、脱炭素、SDGsをさらに促進するために、事業を行っていることがわかった。

町は県と連携しながら「持続可能なものづくりのまち」を目指していると強く感じた。

（山城 峻一）

天竜川総合学習館かわらんべ

社会文教常任委員会



かわらんべ屋上より天竜川河川敷を望む



◀「かわらんべ」ホームページはこちらから

社会文教常任委員会は7月30日（火）に天竜川総合学習館 かわらんべ（以下かわらんべと表記）を視察した。

かわらんべ設立は平成14年7月に国が設置。飯田市と共同管理運営の施設で常駐スタッフは4名である。

飯田市の川路・龍江・竜丘地区の治水対策事業の完成に合わせ、水災害の防災拠点として開館した。三六災害に学ぶ天竜川の水害の歴史、治水の足

跡を継承する常設展示、流域の自然や環境学習の場としている。近隣の住民や地元の研究者、ボランティアスタッフの協力で、土日を中心に年間100回以上「かわらんべ講座」が開催されている。

また、関連組織として一般社団法人飯田天竜川環境整備公社による・河道堆積物の掘削及び砂利採取・河川環境美化・河川環境保全思想の普及啓発・自転車貸出、自転車道の管理などの協力と財政面の支援も受けている。

かわらんべで行われる講座やイベントは、ボランティア活動によりコミュニティとして形成されている。他の地域には、類を見ない積極的な取り組みであり、地域住民の防災意識の高さが伺える。防災を起点にした地域住民とのコミュニティ形成のあり方は、参考に研究していきたい。

（水出 康成）

これからの坂城町を語ろう

～ 令和6年 町民と議員との意見交換会 ～

坂城町議会では、町民の皆様の議会への理解と関心を深め、議会を身近に感じていただくため、「町民と議員との意見交換会」を開催します。

皆様のご参加をお待ちしておりますので、当日会場へお越しください。

■ 開催日時・場所

11月8日(金) 午後7時～8時30分

場所：中心市街地コミュニティセンター2階

■ 内容

2つの班に分かれて、皆さんと意見交換をおこないます。

なお、テーマごとに時間を区切ります。

【意見交換のテーマ】

- ・「人口減少」と「公共施設」について
- ・「防災」と「福祉」について

町議会では、9月30日(月)に、議会運営にタブレットを導入している長和町への視察を行った。社会全体でDXが推進されているなか、長和町においては令和4年より導入の検討を始めた。令和5年は紙とデータを併用し、本年6月よりタブレットを用いた議会運営へ移行した。環境を整えることにより、最新の情報を迅速かつ円滑に共有が図れるよ

タブレット端末 導入に向けて 長和町議会を視察

報
告



タブレット操作を体験

うになり、紙の使用量削減や、議会事務局の資料作成などの事務量削減が大きな効果として表れていることがわかった。

当議会としてもタブレット導入に向け、環境

整備や運用基準の課題を確認し、議会の効率化や情報共有を促進するため、早期導入を進めていきたい。

(大日向進也)

わがまちのアイドル 第5回

＝ 坂城の子は坂城で育てる ＝

坂城町で生まれたお子さんをご紹介します。



～名前の由来は～

生まれた日が快晴だったことと、晴天のように澄んだ心を持って育ててほしいと、名付けてくれました。

～好きな離乳食は～

豆腐ハンバーグとにんじんのポタージュが大好き。好きなものは口を大きく開けちゃう。

～大好きな絵本は～

とびだすうごくどうぶつ。仕掛け絵本が、とても楽しいんだ。お気に入りのページがたくさんあるよ。

～最近ハマっていることは～

テレビの「おかあさんといっしょ」が好きで、曲が流れるとおしりを揺らしながらリズムをとっているんだ。

～お気に入りの散歩コースは～

家の近くの川沿い。いつも抱っこしてもらって、川の流れを見るのが好き。「おう」と言いながら見ているよ。

～パパママからの一言～

生まれてきてくれてありがとう！
これからもたくさん笑って元気に成長して行ってほしいです。



はると
山邊 晴斗くん
(1才：中之条)



平
和

今年パリ五輪がおこなわれ、メダル獲得数は金20個、銀12個、銅13個、計45個と過去最多を更新した。

パラリンピックでも金14個、銀10個、銅17個、計41個のメダルを獲得し、日本選手団の大活躍により、日本中が元気をもらった。

しかし、残念ながら今回のオリンピックでは「平和の祭典」という言葉が消えていた。

1993年、オリンピック期間中の休戦を呼びかける「オリンピック休戦」が、国連で全会一致で決議されている。

今回のオリンピックでも国連は、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ガザ地区戦争に対し、即時停戦を呼びかけたが、応じられなかった。

この次おこなわれる「ロサンゼルス五輪」では、「平和の祭典」となりますように。

(中嶋 登)

発行責任者 議長
議会報編集委員会

委員長 滝沢 幸映
副委員長 中嶋 登
委員 山城 峻一
水出 康成
中村 忠靖
塚田 舞